

白河労働基準監督署 管内の転倒災害発生状況の分析

令和2年において転倒災害は9月頃に多く発生していましたが、平成29年から令和2年に発生した転倒災害を合計して月別に集計したところ、転倒災害は1月に最も多く発生する傾向が見られました。

令和2年における転倒災害の発生状況を業種別に分類すると、製造業が全体のおよそ2割を占め、保健衛生業、接客娯楽業もその他の業種と比較して転倒災害が多く発生している状況が認められます。

同様に年齢別に分類したところ、50歳代の被災者数が最も多く、50歳代以上の労働者について、加齢により筋力やバランスの身体機能が低下し、被災者数の増加に影響していると考えられます。

図3 月別転倒災害発生状況

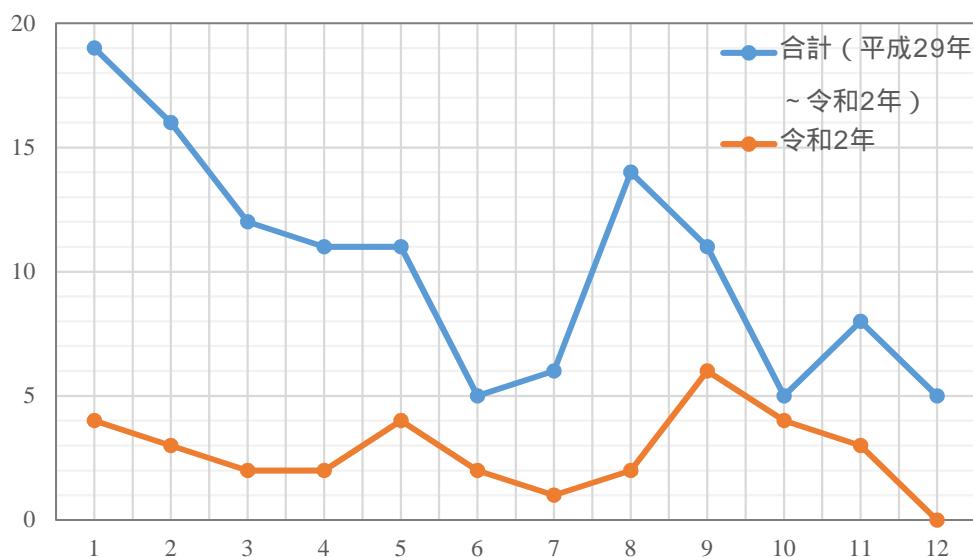


図2 業種別転倒災害発生状況(令和2年)

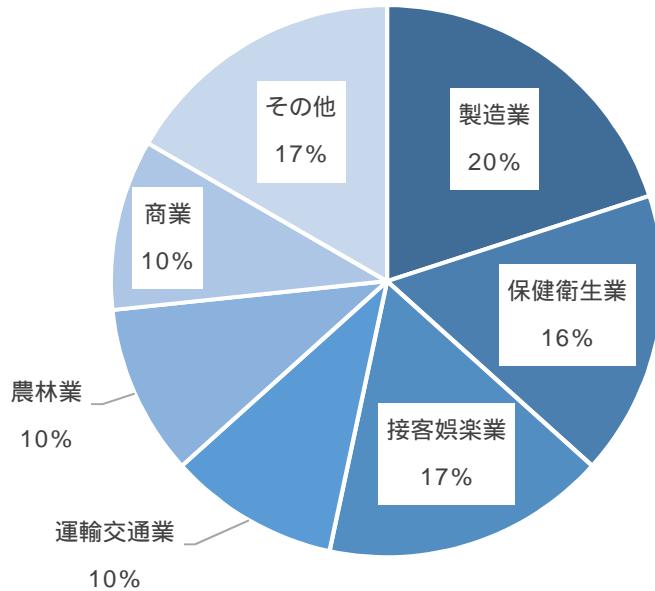


図2 年齢別転倒災害発生状況(令和2年)

